

# 宇工高同窓会々報

## 会員の皆様へ

会長

岡田 義治



同窓会々員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

さて、これからの宇工高同窓会の歩むべき道は、いろいろなことに取り組みが必要があります。100周年の道のりを振り返る中で、母校・宇工高の発展にどれほど貢献を果たしているかが当面の課題となります。本校は2023年度に、学校創立100周年を迎えます。5年間の道のりしかありません。考えられることは、今までの歩んできた歴史を見つめ、将来の形を「記念誌の発行」という方法で記録すること、もう一つは「記念事業」を行うことで

す。100周年のタイミングで、学校創立のころを思い返す縁（よすが）とするものです。そのような意味で時代の変化を読み取れるような、100周年に相応しい目論見をもった事業を考えたいと思います。宇工高同窓会では、会議を頻繁に開いてアイデアの募集に努めていく覚悟で実現をめざして行きたいと考えております。

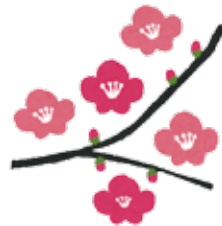
宇工高の教育目標である「豊かな人間性、確かな技術・技能を身につけ、将来の産業界を担う技術者を育成する」というものに直結するもので、100周年を迎える機会に相応しい事業がきつとあります。

今のところ、原案としての提案ですが、「奨学金を支給する」ことが考えられます。自己実現を図るのための学習や比較的高度な資格試験を受験するための資金調達、生活の支援等に用いるもので、人数・金額・期間など慎重に検討することが求められます。また、従来の手法ですが「教育活動後援費」として学校に委ねることも一つの方法であると思います。

発行者  
宇都宮工業高等学校  
同窓会事務局  
宇都宮市雀宮町52番地  
電話 (028)678-6500

私も、卒業式、入学式、創立記念日、体育祭、文化祭等に学校に行つて挨拶を述べる機会がありますが、それ以外に生徒を理解する上で判断材料になるものもあわせておりません。私の独りよがりになっていないかと心配です。生徒が何を求めているか、しっかり見つけていける同窓会にしたいと思えます。生徒のみなさんと教職員、保護者の意見を斟酌して同窓会としての判断にしたいと考えております。

同窓会では平成28年2月、旧宇工高跡地に記念碑「発祥の地」を完成させました。近くにお越しの際には是非御覧になり、移転した(2011年・平成23年)旧宇工高の姿をそれぞれの思いの中に、懐かしんで下さい。



## 今年も大活躍

校長

小林 綱芳



本校同窓会の皆様には、在校生に対しまして、多くのご支援をいただきまして、心から感謝申し上げます。

本年度も多くの宇工生が、様々な分野で活躍しました。運動部関係では、春の栃木県高校総合体育大会から始まり、厳しい県大会を勝ち抜き関東大会に多くの宇工生が出場を果たしました。夏の全国高校総合体育大会にソフトテニス部、陸上競技部が見事出場いたしました。本校の特色でもあるものづくり分野では、関東高校生ものづくりコンテストにおいて、木材加工部門第5位、電気工事部門4位に入賞しました。第四十二回全国高等学校総合文化祭産業分野横Gコンテストで鈴木俊祐さん(機械科3年A組)が優勝しました。さらに、沖縄県で開催された第五十六回技能五輪全国大会配管職種に碓 侑也さん(環境設備3年)が出場しました。さらに2019大会の出場権も得ました。

定時制では、夏の全国定時制高校総合体育大会に、陸上競技、剣道で県代表として出場しました。第六十六回生徒生活体験発表会では素晴らしい発表が行われました。

さらに多くの宇工生が栃木県から全国に向け活躍することを期待しています。

全日制三年生の進路については、就職では、地元企業や県内の大企業を中心に十月末には大部分の生徒が内定をいただきました。公務員では、土木技術職で栃木県庁、宇都宮市役所、真岡市役所、日光市役所、上三川町、国土交通省に、そのほかにも宇都宮消防署、自衛隊、栃木県警、警視庁に合格しました。今年も無事に就職内定率100%を達成いたしました。進学に関しましても大学進学では、宇都宮大学(二名)、横浜国立大学、群馬大学、茨城大学、東京芸芸大学、新潟大学、北見工業大学、岩手県立大学、長岡造形大学、日本大学、日本工業大学、千葉工業大学、東京電機大学、足利大学、帝京大学など多くの大学、小山工業高等専門学校(編入)や専門学校では東京や県内の専門学校から合格をいただきました。

定時制の進路については、足利大学(一名)、地元企業や専門学校への合格をいただきました。これからも、一層のご支援をお願いいたします。

## 定時制の活躍

定時制課程 教頭  
村上英二



今年度の定時制は、現在87名の生徒が在籍しています。年齢構成は15歳から20歳前半です。アルバイトをしている生徒は約65%で、昼間は様々な業務に携わり、夕方5時頃から登校してきます。疲れている様子を見せながらも、夜間勉学に励もうとする生徒たちの熱意に毎日感心しています。

今年度の定時制生徒の活躍を紹介します。まず、6月に行われた第57回栃木県定時制通信制総合体育大会において優秀な成績を収め、陸上では3Aの佐々木龍昇君が400mハードルで、1Aの江連幸鹿君が1500mで、1Bの大野麻奈美さんが走高跳と100mハードルで、剣道では1Aの戸上友輝君が8月に東京都で開催された全国大会へ出場し、貴重な経験をしました。

また第66回栃木県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会では、1Aの江連幸鹿君が、1年生ながらも自分の体験談

を堂々と発表し、優良賞に輝きました。さらに第6回栃木県高等学校定時制通信制秋季卓球大会では、男子個人で4Bの荒井大地君が優勝し、有終の美を飾りました。

3年ぶりに宇工に戻ってきましたが、科学技術高校として学校全体がさらにグレードアップしていることを実感しました。4月の赴任した際の頃は、正門の夜桜がとても美しかったのを思い出します。年末の昼間、そのしだれ桜に近づくと、早くも来春の花芽がみついています。新校移転当時は少し殺風景な桜の木でしたが、今では幹も一段と太くなっており、毎日正門にたずみ、雀宮での宇工の歴史を正に刻んでいるのを感じました。定時制課程は2年後昼夜間二部制に大きく変わります。新たな年輪の準備を、皆で築いていきましょう。

### 第18回高校生ものづくりコンテスト関東大会

#### 「木材加工部門」に出場して

建築デザイン科

顧問 湯本実成  
黒崎利之

平成30年8月24日(金)に、栃木県足利大学学生ホールにおいて、第18回高校生ものづくりコンテスト関東大会「木材加工部門」が開催されました。各都県の代表者30名が参加し、本校からは、県大会で

優勝した建築デザイン科2年の神山颯斗さんと準優勝した同科3年の佐藤佑都さんの2名が、本県代表として競技に参加しました。

2人とも大会前は、大変緊張した様子でしたが、競技が開始されると練習通りの作業工程で、製作時間2時間30分で、精度の高い課題作品を完成させました。建築デザイン科2年の神山颯斗さんは、本県勢3人目となる8年ぶり、5位入賞という快挙を果たしま



した。

生徒からは「今以上に練習を重ね、来年度に開催される技能五輪建築大工職種に出場したい」と感想がありました。本校生の更なる活躍を期待しています。

### 2年連続高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」

#### 関東大会出場

電子情報科

顧問 三神 富士男

8月4日(土)に本校で開催された高校生ものづくりコンテスト電気工事部門栃木県大会で電気科3年の越谷拓海君が準優勝し、8月25日(土)に、埼玉県のものづくり大学で開催された関東大会に出場しました。昨年度参加した山梨大会に続き、2年連続の関東大会出場を果たしました。

この競技は、電気系学科の生徒を対象に、電気工事の基礎・応用の技術向上と電気技術者の育成を図ることを目的としています。その目的の通り技術を磨いてきた関東甲信越地区の代表生徒16名が、縦1800mm×横1800mmの作業板に、120分の制限時間内で電気工事を施し、その完成度を競い合いました。

昨年度は、上位入賞を逃しとても残念に感じていましたが、今大会は、2度目の出場ということもあり、とても落ち着いて競技に臨んでいま



た。また、本人が目標とする「正確かつ早く仕上げる」こともでき、競技後はとてもすがすがしい表情をしていたのが印象的でした。大会の結果は、4位入賞でした。優勝と準優勝は茨城県の選手でしたが、3位と4位は栃木県の選手でした。栃木県の選手のレベルが上がってきたことが証明された大会となりました。今後は、越谷君に続き、県大会、関東大会を勝ち抜いて全国大会に出場し、活躍する選手が本校から育つことを期待しています。最後になりますが、猛暑の中、熱心にご指導くださいました(株)船見組、



(株) 関電工、(社) 栃木県設備業協会電気工事部会の方々に心から感謝申し上げます。

**関東選抜新人**

**陸上競技大会に出場して**

陸上競技部

電子機械科 2 年 **小林 英嵩**

私は、山梨県甲府市にある中銀スタジアムで行われた関東高校選抜新人陸上大会に 200m と 400m で出場しました。栃木県では、各種目上位三名の選手が関東大会に出場することができ、私は 200m で 3 位、400m で 2 位の成績を得て、出場することが出来ました。私が一年生の時、4×400m リレーに先輩方と出場した際は、団体種目であることと、下級生であるということから安心感がありました。今回は個人種目だったので、緊張と共に自分がしつかりしなくてはいけないと言っていると感じていました。

関東大会に出場した結果は、200m、400m どちらも自己ベストを更新することができましたが、予選敗退となつてしまい、とても悔しい思いをしました。改めて、関東大会決勝のステージは高いところであるということを感じました。

残す大きな大会も僅かとなつており、第一に怪我をしないように注意し、一日一日の練習を大切にしていきたい

と思つていきます。また、高校生活最後の高校総体では、県予選、関東予選を必ず突破し、全国高校総体出場を目指したいです。



**全国高等学校剣道大会に出場して**

定時制課程

顧問 **岡 本 幸 二**

平成 30 年度第 57 回栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会の剣道男子個人戦が 6 月 16 日に宇都宮工業高等学校で行われた。戦いは出場選手 7 名の総当たり戦で行われ、本校から出場の戸上 友輝君が 4 位の成績で、全国大会の個人戦と団体戦に出場することが決定した。全国大会は 8 月 6 日に日本武道館で開催された。男子個人戦は 1 回戦敗退であった。男子団体戦は 29

チームが参加し、8 グループによるリーグ戦が行われ、戸上君は、中堅(先鋒、次鋒、中堅、副将、大将)で出場した。栃木は対広島、対岐阜、対福島に 3 連勝してベスト 8 に進出した。戸上君は対福島で勝利、対岐阜で引き分けるなど、得意の「面」でポイントをおとした。その後、勝ち残った 8 チームのトーナメント戦が行われ、栃木は優勝候補の神奈川相手に 1 勝 2 敗 2 分けと善戦したが、惜しくも敗退した。栃木は当初の目標であったベスト 8 を達成することができた。戸上君は初出場であるというハンディがありながら、試合を重ねるごとに調子を取り戻し、団体戦のベスト 8 のトーナメント戦では、上級生の格上の相手に力を存分に発揮して、引き分けに持ち込むなど、全ての試合に堂々とした戦いぶりで非凡なものを見せた。こうした大会を経験して得た自信は大きいと思われ、来年度以降の飛躍が楽しみである。



**平成三十年度の進路について**

進路指導部長 **丸山 玲子**

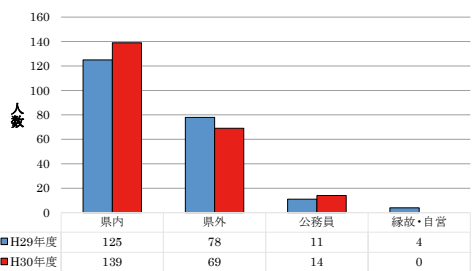
**本校のキャリア教育**

最近では、人生百歳構想も当たり前になってきました。栃木県の百歳を超えた人口も、八百人を超えたようです。本校のキャリア教育は、「自分の生き方」を考へるということと、進路決定をしてきました。以下、今年度の実績をご報告申し上げます。

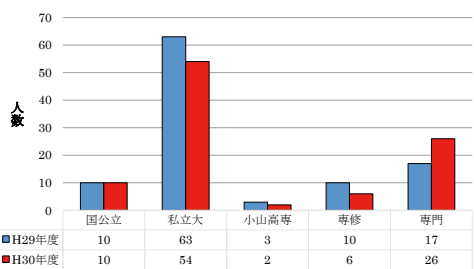
**就職**

求人企業数は、昨年並みでした。県内外から、一、〇〇〇を超える求人がありました。県外からの求人は、増え続けています。このような状況の中で就職活動となりました。昨年度と就職先を比較すると、県内での就職者と公務員が増えました。

就職の 2 年間の内訳



進学の内訳の 2 年間の内訳



**進学**

進学は、昨年度は私立大学が多かったのに対し、今年度は専門学校が増えました。国立大学に関しては、推薦入試の筆記試験の難易度が上がり、英検 2 級以上の実力が要求される中、横浜国立大学、新潟大学、東京学芸大学、群馬大学、茨城大学や北見工業大学、岩手工業大学、長岡造形大学などに合格し、工学部改編の宇都宮大学にも二名合格ということで、健闘いたしました。



第 4 次産業革命の技術革新が進んでいる日本で、本校生徒を自社の社員として迎え入れ、有望な技術者として育成したいと考えている企業が多いようです。

平成29年度収支決算報告

平成30年度予算

(1) 一般会計

収入金 5,383,821円  
 支出金 4,974,312円  
 残金 409,509円  
 自 平成29年4月1日  
 至 平成30年3月31日

(1) 一般会計

収入金 4,964,509円  
 支出金 4,964,509円  
 残金 0円  
 自 平成30年4月1日  
 至 平成31年3月31日

■収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	748,569	748,569	0	
永久会員費	3,470,000	3,460,000	△10,000	全10,000×318人=3,180,000 定10,000×28人=280,000
雑収入	130,000	175,252	45,252	一般会計利子、総会参加者会費 卒業生による学校への寄付等
基金からの借入金	1,000,000	1,000,000	0	一時借入金
計	5,348,569	5,383,821	35,252	

■支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	600,000	612,455	12,455	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	34,724	△165,276	名簿管理費、通信費、一般備品
渉外費	100,000	10,000	△90,000	母校歓迎迎会寸志等
事業費	1,300,000	1,299,651	△349	卒業記念品、同窓会報、祝賀金、同窓 会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	359,244	59,244	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	100,000	26,200	△73,800	香典、生花
同窓会HP管理費	100,000	82,038	△17,962	HP更新料、名簿管理費、サーバー費
記念碑維持管理費	50,000	50,000	0	
創立100周年事業費	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	98,569	0	△98,569	
借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	基金(足利銀行)へ返済
計	5,348,569	4,974,312	△374,257	

(2) その他

①基金

(単位：円)

基金合計	94,208,981		
金融機関名	栃木銀行 22,626,074	足利銀行 51,582,907	日光杉並木基金 20,000,000

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成30年4月28日

監査

小林 秀明  
大橋 光

■収入の部

(単位：円)

科目	29年度予算額	30年度予算額	増減	備考
繰越金	748,569	409,509	△339,060	
永久会員費	3,470,000	3,450,000	△20,000	全10,000×320人=3,200,000 定10,000×25人=250,000
雑収入	130,000	105,000	△25,000	懇親会参加費、一般会計利子
基金からの借入金	1,000,000	0	△1,000,000	一時借入金
基金からの振替	0	1,000,000	1,000,000	
計	5,348,569	4,964,509	△384,060	

■支出の部

科目	29年度予算額	30年度予算額	増減	備考
会議費	600,000	800,000	200,000	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	400,000	200,000	通信費、一般備品
渉外費	100,000	100,000	0	母校歓迎迎会寸志等
事業費	1,300,000	1,300,000	0	卒業記念品、同窓会報、祝賀金、 同窓会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	100,000	100,000	0	香典、生花
同窓会HP管理費	100,000	100,000	0	HP更新料、名簿管理費、サーバー費
記念碑維持管理費	50,000	50,000	0	
創立100周年事業費	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	98,569	314,509	215,940	
借入金返済	1,500,000	500,000	△1,000,000	基金(足利銀行)へ返済
計	5,348,569	4,964,509	△384,060	

(2) その他

①創立100周年事業費

(単位：円)

収入	1,000,000	支出	0	残高	2,000,000
----	-----------	----	---	----	-----------

②基金

(単位：円)

基金合計	92,710,681		
金融機関名	栃木銀行 22,627,774	足利銀行 50,082,907	日光杉並木基金 20,000,000

同窓会定期総会報告

平成30年度定期総会は、平成30年6月2日(土)、ホテルニューイタヤで開催しました。

平成29年度事業報告、決算報告の後、平成30年度事業案、予算案の審議を行いました。会則の改定について審議いただきました。2023年に宇都宮工業高校が100周年を迎えるにあたり、岡田同窓会長を中心に100周年に向けた事業案について話し合われました。

同窓会長賞

同窓会長賞をJICA高校生エッセイコンテスト特別賞、生徒会副会長などで活躍した環境土木科船山真理さんに授与しました。

サッカー部70周年

サッカー部創部70周年を記念し、平成31年5月26日(日)ホテルニューイタヤで記念式典を行います。詳しくは、宇工高サッカー部顧問まで問い合わせ願います。

訃報

参与の梅津林造様(ご逝去)が昨年他界されました。ご冥福をお祈りいたします。

同窓会事務局の動向

建築デザイン系石谷英直先生が小山北桜高校に、電気情



平成29年度決算報告及び平成30年度予算案を掲載しましたのでご覧下さい。

平成30年度役員

- 会長 治一 樹恵夫 男 一久 薫明光 好藏 一夫 男 誠雄 宏 芳 男 文 之 長 雄 一
- 副会長 義啓 茂 智 秀 泰 弘 智 秀 一 健 富 和 成 光 綱 政 忠 (ご逝去) 倭 良 勇 裕
- 顧問 田井坂 田川 井井 梶 田林 橋 橋 成 田部 瀬 藤 塚 島 林 尻 口 林 田 平 邊 田
- 監査 岡櫻 甫 福 常 今 藤 宇 亀 和 小大 板 吉 福 阿 猪 伊 飯 中 小 野 湯 梅 根 津 大 小 渡 蓮
- 参与 津 大 小 渡 蓮